くみやま 議会だより

No. 147
平成29年
8月1日号
発行／京都府
久御山町議会

5月臨時会・6月定例会

議会の後期体制決まる …… 2P
常任委員会からの報告 …… 6P
8人が登壇　一般質問 …… 8P
研修報告など …… 17P
めざせ全国大会優勝 …… 18P

［表紙写真：白熱の小学生ドッジボール大会］

9月の定例会の予定

9月 7日（木）	開　会
9月19日（火）	一般質問
9月20日（水）	一般質問
9月25日（月）	閉　会

※日程は変更することがあります。

臨時会　5月12日

平成29年第１回臨時会

議会の後期体制が決まる

平成29年第1回臨時会が5月12日に開かれ、議長や副議長をはじめ、議会運営委員会委員、常任委員会委員、城南衛生管理組合議会議員などの選挙や選出がおこなわれ、後期の議会構成が決まりました。

また、町長から提出された議会選出の監査委員の選任同意や、中学校給食室の工事請負契約の締結をはじめ、条例の一部改正や補正予算の専決処分の議案など10件について、いずれも原案のとおり同意や可決、承認をしました。

※本町議会では、議会人事を議員の任期（4年）を前期と後期に分けて、議会の体制を決めています。

議長　戸川和子

不惜身命に公平かつ円滑な議会運営に努めるとともに、議会の改革にも、引き続き取り組んでまいります。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力をお願いします。

副議長　内田孝司

議会のチェック機能が十分に発揮できる議会運営に努めます。

本町のさらなる発展に、全力で取り組む決意でありますので、温かいご指導とご鞭撻をお願いします。

監査委員の選任に同意

監査委員　中井孝紀

議会議員から選任する監査委員に、中井孝紀議員が決まりました。

町議会から選出する一部事務組合等の議会議員

城南衛生管理組合議会

ごみやし尿を共同処理するため、本町を含む3市3町で構成する一部事務組合の議会議員

信貴恵太
松本義裕

京都府後期高齢者医療広域連合議会

後期高齢者医療の事務処理をおこなうため、府内の市町村で構成する広域連合の議会議員

巽悦子

京都地方税機構議会

京都府と府内の市町村（京都市を除く）が、税業務を共同でおこなう組織の議会議員

林吉一

総務事業常任委員会

広報、行財政、防災、消防、農商工業、道路、河川、都市計画、上下水道などを調査。

委員長
岩田　芳一

副委員長
松尾　憲

委員
信貴　恵太

委員
林　吉一

委員
中野ますみ

委員
内田　孝司

委員
中井　孝紀

民生教育常任委員会

福祉、保健、住民登録、子育て、環境、清掃、保育所、幼稚園、学校教育、社会教育などを調査。

委員長
田口　浩嗣

副委員長
塚本五三藏

委員
松本　義裕

委員
中　大介

委員
島　宏樹

委員
巽　悦子

議会運営委員会

本会議や委員会などの議事の運営・能率的な進行を図る。また、地域懇談会の計画・運営に取り組む。

委員長　巽　悦子
副委員長　岩田　芳一
委員　信貴　恵太
委員　松本　義裕
委員　林　吉一
委員　中井　孝紀

広報広聴委員会

議会広報、議会ホームページの充実、議会見学会等を通じ、情報公開に努める。

委員長　信貴　恵太
副委員長　松本　義裕
委員　松尾　憲
委員　田口　浩嗣
委員　内田　孝司
委員　岩田　芳一
委員　巽　悦子

公共交通調査特別委員会

将来を見据えた公共交通のあり方を調査。

委員長　松本　義裕
副委員長　塚本五三藏
委員　林　吉一
委員　田口　浩嗣
委員　島　宏樹
委員　岩田　芳一
委員　巽　悦子

会派構成

5月15日現在の会派構成をご紹介します。

◎印は代表者。

公明党議員団	日本共産党議員団	緑風会	くみやまみらい	会派に属さない議員
◎岩田　芳一	◎巽　悦子	◎塚本五三藏	◎島　宏樹	中井　孝紀
戸川　和子	中野ますみ	信貴　恵太	内田　孝司	田口　浩嗣
			中　大介	松尾　憲
			林　吉一	
			松本　義裕	

5月 臨時会
5月12日

第1回臨時会では、一般会計や条例改正等の採決がおこなわれました。

条例の改正

●消防団員等公務災害補償条例一部改正

●町税条例一部改正の専決処分につき承認を求める

●都市計画税条例一部改正の専決処分につき承認を求める

●国民健康保険税条例一部改正の専決処分につき承認を求める　【全員賛成】

工事請負契約

●久御山中学校給食室新設工事請負契約の締結

契約金額　2億1762万円
契約相手　株式会社巌建設
契約内容
①建築工事（給食室新設工事　鉄筋コンクリート造　平屋建て　床面積　336・00㎡　他）
②電気設備工事他
平成30年1月31日までの工事
【全員賛成】

※賛否が分かれた議案は、5ページに記載しています。

◆平成28年度補正予算（専決処分）

区　分		補正額	補正後の額
一般会計（第7号）		▲2億5287万円	74億3019万円
特別会計	国民健康保険（第4号）	▲3109万円	24億9162万円
	介護保険（第4号）	▲167万円	12億8695万円
	後期高齢者医療（第3号）	412万円	2億　457万円

＊万円未満四捨五入　（▲＝減額）

【全員賛成】

6月 定例会
6月9日～23日

第2回定例会には、人事の同意や補正予算などの議案を審議し、採決がおこなわれました。

財産の取得

●久御山中学校給食室新設にともなう厨房備品等を整備

取得物件　久御山中学校給食室厨房備品等
（主な厨房備品　炊飯器、食器消毒殺菌庫、冷蔵庫他）
取得金額　4943万円
取得先　株式会社中西製作所京都営業所
【全員賛成】

久御山中学校

きて・みて・議会

今年も「議会見学会」を予定しています。本会議場や委員会室を議員が案内します。
みなさまのご参加をお待ちしています。

予告

日時：11月4日（土）11時～14時
会場：久御山町議会棟
主催：久御山町議会広報広聴委員会

監査委員に

川﨑隆治氏（新任）

田井厚氏の任期満了（6月19日）にともない、新たに選任することに同意しました。
任期は4年です。

教育委員会委員に

寺井恵太郎氏（再任）

任期満了（6月30日）にともない、引き続き任命することに同意しました。
任期は3年3月です。

澱川右岸水防事務組合議会議員選挙

寶田尚久氏（再任・大橋辺）

奥田幸男氏（再任・大橋辺）

任期満了（7月29日）にともない、両氏が当選されました。
任期は4年です。

農業委員の任命に同意

任期満了（7月19日）にともない、次の14名の方を任命することに同意しました。
任期は3年です。

山本喜八郎氏（再任・藤和田）
林　勉氏（再任・田井）
西村　裕氏（再任・野村）
南　和弘氏（新任・佐山）
小寺　均氏（新任・相島）
松村敏彦氏（新任・佐古）
中西義晴氏（新任・藤和田）
内田裕夫氏（新任・東一口）
吉川敏彦氏（新任・坊之池）
村田正己氏（新任・北川顔）
藪内義成氏（再任・北川顔）
田中壽嗣氏（再任・東一口）
上田幸子氏（新任・坊之池）
田口洋輔氏（新任・下津屋）

平成29年度 補正予算

●一般会計（第1号）

補正額　1092万円
補正後の額　73億9792万円
【全員賛成】

【歳入（収入）の主な内容】
◆財政調整基金繰入金　734万円
◆コミュニティ助成事業助成金　120万円

【歳出（支出）の主な内容】
◆都市計画推進事業　548万円
◆茶業振興対策事業　98万円

佐山浜台の茶園

◆賛否が分かれた議案　〇賛成　×反対　＊戸川議長は賛否同数以外は採決には加わらない。

議案／議員	信貴 恵太	松本 義裕	林 吉一	中野ますみ	松尾 憲	中 大介	田口 浩嗣	島 宏樹	内田 孝司	岩田 芳一	中井 孝紀	塚本五三藏	巽 悦子	結果
消防団員等公務災害補償条例一部改正について	〇	〇	〇	**×**	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	可決
町税条例一部改正の専決処分につき承認を求めることについて	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	**×**	可決
都市計画税条例一部改正の専決処分につき承認を求めることについて	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	可決
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	可決
「組織的犯罪処罰法等の一部を改正する法律（テロ等準備罪）」の撤回を求める意見書【議員提出】	×	×	×	〇	〇	×	×	×	×	×	×	×	**〇**	否決

（注）表中の〇及び×（太ゴシック）については、〇＝賛成討論、×＝反対討論をおこなっています。

常任委員会・協議会レポート

6月定例会の総務事業常任委員会・協議会（14日開催）は、お茶の京都博エリアイベント（黄金の茶室）や地方創生推進交付金などについて、また、民生教育常任委員会・協議会（15日開催）は、久御山中学校給食室の備品購入契約や（仮称）さやまこども園整備工事の進ちょく状況などについて、各所管課から説明がありました。

各常任委員会や協議会で、次のような質疑応答がありましたので報告します。

総務事業常任委員会・協議会

■下水道中内ポンプ故障時の対応は

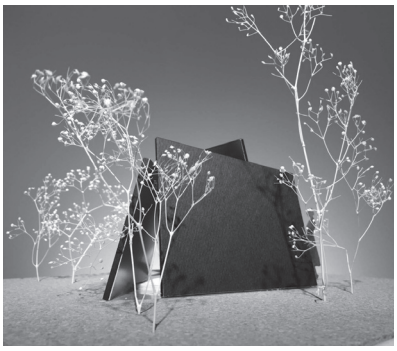
Q 真空ポンプが、2台とも止まった場合の対処方法は。

A バキュームで下流に流すようにして、早急に予備の1台を入れていく。

■お茶の京都博エリアイベント「黄金の茶室」とは

Q 「黄金の茶室」とは、どういうものか。

A 町内企業の協力で、茶文化の伝統と現代技術を掛け合わせた一坪茶室をつくる。



黄金の茶室（イメージ）

■地方創生推進交付金 レンタサイクル事業の考えは

Q レンタサイクル等事業は、クロスピアくみやまで貸出をしているが、他の場所での貸し出しの考えはないか。

A 今後は住民の声を聞いていき、検討していきたい。

民生教育常任委員会・協議会

■中学校給食室備品購入 内容は

Q 建設工事と分離して契約する理由は。

A 厨房機器の専門業者から購入する。

Q 納入方法は。

A 本体工事の進ちょくにあわせて納入するなどで対応していく。

Q 給食調理員は何人を予定しているか。

A 6人を予定している。

Q 調理する食数は500食と説明があったが、増えることはないのか。

A 生徒420人、教職員40人で500食までと見込んでいる。

■（仮称）さやまこども園 整備工事の増額理由は

Q 園庭の地中障害物の撤去は。

A 既存の側溝などがあり、工事の支障となるため撤去したもの。

Q 京都産木材の使用を、当初に予定していなかったのは。

A 当初は他の工事での補助金を予定していたが、それを取りやめ、京都産木材を使用することになった。

建設中の（仮称）さやまこども園

内　容：「道の駅　みなみやましろ村」視察
実施日：４月24日

総務事業常任委員会／閉会中の事務調査

村のヒト・モノ・コトに出逢える「道の駅」

本年４月15日に、JR月ヶ瀬口駅そばの国道163号沿いに道の駅がオープンした。

施設の中心となる「ふれあい交流センター」は、村茶屋・のもん市場・村民百貨店などに分かれている。

村茶屋は、茶処として上質なお茶をたくさん使用した村抹茶ソフトクリームや冷やし抹茶などがあり、お茶のスイーツやドリンクがテイクアウトできる。

のもん市場では、村でつくられたむらのもんや、近隣のもんが並び、どこどこ「のもん」からネーミングされている。

村茶や採れたて野菜、村の食材や食文化を活かし、作り手や生産背景が見えるようになっている。

村民百貨店では、村にコンビニエンスストアが少ないことから、食料品や日用品などが並んでおり、お弁当や食材などの宅配にも対応できるように、暮らしに必要なものが取り揃えられ、村の暮らしにふれられる施設として整備された。

売り場にはセルフレジが導入されている

内　容：再生可能エネルギーの有用性について
実施日：４月27日

民生教育常任委員会／閉会中の事務調査

「エコを文化に」事業としての取り組み

京阪奈学研都市の「けいはんなイー未来まなびパーク」を視察した。

この施設は、再生可能エネルギーや太陽光発電、電気自動車などについて、体験しながら理解を深め、わかりやすく学べる工夫がされている。

エネルギーをかしこく使い、スマートに暮らす取り組みを実現させるため「京阪奈エコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」を開始された。

けいはんなスマートシティの説明を受ける委員

平成22年度は、日本で一番の低酸素都市を目指してスタートしたが、東日本大震災や電力システムの改革などで、電力卸売市場対応や、再生可能エネルギーの余剰受け入れ対策など、新たな課題に対応した。

その結果、平成26年度はCO_2や夏季・冬季において電力のピークカットの目標を達成することができた。

今後は目標として掲げている「エコを文化に」を事業として目指していくとのことである。

一般質問 ここが聞きたい

8議員が登壇

一括質問	信貴　恵太 議員	① ふるさと納税 ② 不妊治療	P9
一括質問	松本　義裕 議員	① (仮称)さやまこども園開園に伴う周辺対策と幼保一体化の方針 ② 特別警報発令時の住民の安全確保等 ③ 遊休田等の有効利用	P10
一括質問	田口　浩嗣 議員	① 子育て環境の整備と観光でのまちづくり ② 公共交通の今後	P11
一括質問	林　吉一 議員	① 農業振興 ② KBSラジオ電波塔のランドマーク化	P12
一問一答	松尾　憲 議員	① 公共交通施策 ② 幼保一体化施策	P13
一問一答	中井　孝紀 議員	① 公共交通の充実 ② まちの駅クロスピアくみやまの運営 ③ 都市計画マスタープラン ④ ふるさと納税	P14
一問一答	巽　悦子 議員	① 福祉のまちづくり ② 学校教職員の安全衛生管理 ③ (仮称)さやまこども園の運営	P15
一括質問	塚本五三藏 議員	① 第７次高齢者保健福祉計画の進捗状況 ② 国民健康保険税の賦課・徴収の回数の変更	P16

一括質問 ➡ 議員の質問時間の制限はない。質問回数は２回まで。

一問一答 ➡ ２回目からの質問は、１つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。ただし、議員の質問時間は30分以内。

＊陳情や請願等の手続き、議会日程など詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
議会事務局：<TEL>　075（631）9996、 0774（45）0105

■一般質問■

信貴　恵太 議員

一括質問方式

Q ふるさと納税とどう向きあうのか

A 町産業のＰＲをおこなっていきたい

質　問

ふるさと納税について、競争の過熱などで健全な制度のあり方が、各地で議論されている。

本町の寄附額と町民税の控除額の実態は。

総務課長

平成28年度には、３９８件で２６４万円である。

本町から他市町村への寄附に対する町民税の控除額は、一般寄附も含まれているが、平成28年の寄附分についての税金の控除額は７２１万円である。

質　問

平成28年度の寄附額は２６４万円。本町から他市町村への寄附額の控除額は７２１万円と約４５０万円の持ち出しがある。

他市町村では、カード決済やコンビニ決済も可能にしており、納税しやすい環境をつくる事も大切と考える。

本町では、ふるさと納税と今後どのように向き合っていくのか。

町　長

本年度から新たに久御山産の野菜を広くＰＲするため、旬の野菜セットを返礼品に加えることとし、久御山町農産物直売所旬菜の里との調整をおこなっている。

ふるさと納税返礼品で地元野菜のPR
（写真はイメージ）

町産業のＰＲをおこなっていきたい。

納税してもらいやすい環境づくりは大変重要であり、カード決済やコンビニ決済についても検討する。

Q 不妊治療制度の拡充が必要では

A 経済的負担の軽減に努める

質　問

不妊に悩む夫婦の割合も増加傾向にあると聞くが、不妊治療には高額なお金がかかり、経済的、精神的にも大きな不安を持っておられる。

本町では、どのような不妊治療助成制度を実施しているのか。

子育て支援課長

保険診療適用の医療費の２分の１の費用助成をおこなっており、京都府の補助金を活用している。

助成実件数は平成26年度12件、平成27年度19件、平成28年度22件と年々増加傾向にある。

質　問

本町も、積極的な不妊治療制度の拡充が必要では。

今後の不妊治療助成事業について、本町ではどのような取り組みをしていくのか。

また、町内の病院での産科の取り組みについても把握しているのか。

町内にある総合病院（佐山）

子育て支援課長

今後も不妊に悩む夫婦の、経済的負担の軽減に努める。

昨年５月に開院された京都岡本記念病院では、専門医等の確保ができないために、産科診療の一部が実施されていない状況である。

産科での分娩ができるよう、専門医等の確保について、京都府をはじめ関係機関に支援を要望していきたい。

■一般質問■

松本　義裕 議員

一括質問方式

Q こども園の周辺対策と幼保一体化の取組みは

A 交通対策等を進める保護者の負担を軽減する

質　問

車での送迎が多く、こども園開園後の周辺対策をどのように考えているのか。

子育て支援課長

送迎車両等の駐車対策と、周辺の交通安全対策を、関係機関と協議して進めていく。

質　問

こども園開園にあわせ、他の校区でも、幼保一体化を進めると聞いたが、現状の取り組みと今後の考えは。

子育て支援課長

カリキュラム等の見直しや、2カ所送迎等の協議を重ねており、保育延長等で保護者の負担を軽減していく。保育所籍の児童は、校区に関係なく通園は可能である。

建設中の（仮称）さやまこども園の園舎と周辺道路

Q 特別警報発表時の対応や情報伝達は

A 情報の収集と適切な行動の周知啓発

質　問

町や周辺地域に大雨特別警報が発表された時、住民の安全確保のための取組みは。

総務課長

緊急速報メールやホームページ、FMうじ放送などにより周知し、情報の収集や関係機関との連絡、避難所の準備をおこなう。

質　問

各自治会と病院や会社、スーパー等と災害時の協定を結ぶ事で、近くに避難する事ができると思うが、取組み状況は。

総務課長

現在、イオン久御山店、京都日野自動車㈱と協定を結び、住民の避難が可能であり、今後増やしていきたい。

危険水位の木津川

Q 農地の活用で農家の声の把握は

A 町内を巡回し、直接声を聞いている

質　問

耕作放棄地や、農業ができずに委託されている農地の把握は。

産業課長

本町の農地面積の約10％（約56ヘクタール）が、受託組織へ委託等されている。耕作放棄地は、0.3％（約1.5ヘクタール）あり、全国的にはかなり低い状況にある。

質　問

農家の皆さんの声を、どのように把握し、対応しているのか。

産業課長

農地集積コーディネーターが町内を巡回し、農家の生の声を聞くとともに、農地中間管理事業等も活用している。

農業委員会も、農地の売買や貸し借りの申し出を受け、農地のあっせんをおこなっている。

■一般質問■

田口　浩嗣 議員

一括質問方式

Q 子どもの体力づくりにプレーパークの整備は

A 緑のマスタープラン策定に事例とし検討する

質問

教育目標である知・徳・体の中で、「知」は、町内小学生の学力が全国の平均レベルに達し、「徳」は、道徳の教科化で補えるが、「体」は、全国で京都府の小学生の体力順位は38位となっている。

そこで、自己責任で楽しんで、体力を身に付けられる、冒険遊び場と言われるプレーパークを、各小学校のグラウンドや、中央公園の再整備に取り入れる考えは。

社会教育課長

グラウンドでの「プレーパーク」利用という点で、子供たちの自由な発想で遊べるものも紹介していく。

都市整備課長

新たな公園の整備には課題があるが、中央公園の拡充や、「緑のマスタープラン」の策定に有効な事例とし検討項目にする。

町外のプレーパークに掲げられている看板

Q 観光としてキッザニア的体験コースは

A 実現の可能性を研究する

質問

魅力ある農・商・工といった「産業」の魅力を活かし、ＪＡや商工会、クロスピアくみやまを拠点に、「観光の一つ」キッザニア的に色々な経験ができる、農業・工業・建築体験研修コースを、町として後押しできないのか。

産業課長

体験で得た「仮想通貨」の仕組みは、農・商・工を生かした子育て環境モデルとして興味を感じる。

今後、企業・農業者・各団体等の意見を伺い、実現の可能性を研究する。

Q のってこタクシー 淀駅への接続とバス路線の充実は

A 現時点接続すべきでないバス路線は積極的に支援

質問

のってこタクシーの運行開始から1年以上が経過したが、京阪淀駅への接続要望が根強く、現在の運行内容で満足と思っているのか。御牧地区では、若者の流出もとまらない。

京阪淀駅へのアクセスを検討できないのか。

都市整備課長

利用者登録数は１７００人で63％が60歳以上。平成28年度合計利用者数７１６２人。路線バスの拡充を目指している状況で、京阪淀駅への接続は、現時点において接続すべきでない。

質問

町は路線バスを主体に交通システムを充実する考えだが、路線バスの実現化は、具体的に明確ではない。

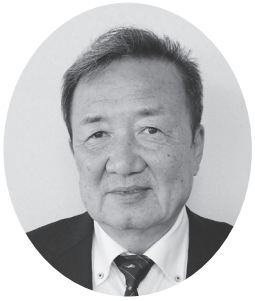
町として、路線バスの実現に向け、具体的な取り組みと、バス事業者との協議の進ちょく状況は。

都市整備課長

バス会社との協議などをもとに、休止路線復活と新規路線設置を要望し、官民が協働で実現可能なバス路線を、積極的に支援していく。

路線バスの充実を

■一般質問■



林　吉一　議員

一括質問方式

Q 九条ネギの生産・出荷状況は

A 今後も増加する傾向にある

質　問

ＪＡ京都やましろ管内における、九条ネギの生産量と出荷状況、そして、平成27年度から稼働の、ネギ調整包装設備の運営状況と今後の展開は。

ＪＡ京都やましろ
ネギ調整包装施設（中島）

産業課長

九条ネギの出荷額は年々増加し、5年前に比べると約3倍となっており、今後も増加する傾向にある。さらに京都の市場に加え、東京市場にも販路を拡大している。

九条ネギが植えられた畑

質　問

九条ネギのカットセンター施設を久御山町で計画しているが、センターが設置されれば、効率的に出荷できる環境が整う。町独自の施策は。

産業課長

新たな施設が町内に建設され、本町の生産者所得の安定や向上につながることを期待し、本町の生産者に与える影響を見守る中で、支援のあり方を検討する。

Q KBSラジオ電波塔のランドマーク化は

A まちの魅力発信などで引き続き取り組む

質　問

本年3月に実施されたKBSラジオ電波塔の試験点灯は、住民の皆さんはどのように受け止められているのか。

今回の試験点灯に際し、目視などで調査を行うとともに、住民の方からの意見を聞いていると思うが、調査結果やどのような評価があったのか。

産業課長

初日3月24日の午後8時から午後9時半の間、目視調査と撮影調査をした。

調査の結果、ラジオ電波塔周辺では非常に幻想的に見え、また、見に来られた方も多く、高い評価の声があった。

質　問

KBSラジオ電波塔を、ランドマークとして活用していくための、今後の進め方は。

町　長

KBSラジオ電波塔は、京都タワーより6m高い137mである。フラットな地域、平坦な地形で、交通の要衝地としての特性を持つ本町だからこそ、ランドマークになり得ると考え、お茶の京都の事前PRとして、この山城北の玄関口から、強く発信すべく試験照射を実施した。

今回のライトアップは、ランドマーク化実現に向けての一歩を踏み出せたと感じる。

まちの魅力発信、ふるさと意識の醸成に努めるため、引き続き取り組んでいく。

ＫＢＳ京都ラジオ電波塔

■一般質問■

松尾　憲 議員

一問一答式

Q 公共交通施策網形成計画策定を

A 交通網形成に対応すべく近隣市町とも協議・検討する

質　問

デマンドタクシー一年半の成果は、どう評価しているか、また、利用者の声はどのように認識しているのか。

都市整備課長

利用者数は増加傾向にあり、3本の柱―交通不便地の解消、公共施設への足確保、高齢者の外出支援―は、目標に向け進んでいる。

利用者から「電話予約が不便」「行先制限は不便」の声がある。

昨年8月に、予約時間の延長、10箇所の停留所増設、乗り継ぎの便宜を図った。

質　問

町内の公共交通は路線バスが基本といわれてきたが、バス事業者に声掛けしている具体的な内容は。

都市整備課長

御牧地区の休止路線復活、既存路線の充実、新路線の検討、停留所の環境整備の4点を求めている。

路線網の要となるクロスピア

質　問

第5次総合計画や都市計画マスタープランにある、にぎわうまちづくりへ向けた、地域公共交通ネットワーク形成へ向け、交通政策基本法や交通網形成計画による、計画策定を考えているか。

副町長

公共交通は、地域全体を発展させ持続させるのに必要と認識しており、交通網形成に対応すべく、近隣市町とも協議し検討していく。

Q 幼保一体化来年4月開園の準備は

A 6月末からの説明会で十分な理解を求める

質　問

さやまこども園の進捗状況―ハード・ソフト両面―は順調に進んでいるか。

子育て支援課長

工事は順調に進んでおり、8月末新園舎完成、9月新園舎に移り、来年2月を目途に旧園舎を改修。

ソフト面は、各所・園と行政間で協議を進めており、カリキュラムを第一に作成中である。

質　問

運営主体である職員の皆さんへの説明と、預けられる保護者の方への話し合い・説明は進んでいるか。

子育て支援課長

各所・園では1月から毎月検討会議をおこない、まず第一に3歳児のカリキュラム見直し検討を重ねてきた。保護者の皆さんへは、6月末より、各所・園で説明、ご意見を聞き、10月入園募集につなげたい。

質　問

来年4月のさやま開園と同時に御牧地区、東角地区も並行して一体化を進めるのに問題はないか。準備のテンポが鈍いように感じるが。

子育て支援課長

平成23年の幼保一体化提言以降、5歳児の運営を勘案し進めており、一定の理解を得ている。

さらに今後の説明会で十分な理解を得られるよう取り組む。

■一般質問■

中井　孝紀 議員

一問一答式

Q 公共交通の専門家と対策の協議は

A 旗振り役として専門家の意見を聞く

質　問

のってこタクシーでは補完できないニーズへの対策として、路線バスの充実が必要になる。企業へのアンケートも実施されたが、具体的な対策は。

都市整備課長

バス事業者に、交通不便地である御牧地域の休止路線の復活や、既存路線の充実を要望している。

質　問

公共交通は、一つの施策で他の部門にも効果をもたらすクロスセクター効果の高い重要な事業と言えるが認識は。要望を実現するためには、近隣自治体や京都府との連携や、公共交通の専門家も入れて対策を協議すべきでないのか。

副町長

関係市町村との連携も大事なので、意見を聞く場をもちたい。

公共交通の旗振り役としてや、クロスセクター効果の検証にも専門家の意見を伺いたい。

町　長

近隣や国との連携を密にして民間路線バスを基軸としながら、のってこタクシーで補完し、クロスセクターの効果を高めていきたい。

Q 御牧地区にも住宅開発は

A 地区計画の制度もあるので考えたい

質　問

東一口東島・モタレの開発の後は、その北側の1号線から第二京阪道路の間も土地活用すべきでは。

御牧地区は農業集落ゾーンに指定されているが、均衡ある発展のため、住宅開発ができないのか。

事業建設部長

北側の地域は今のところ農地保全地域と位置づけているが、次期見直しの中で農業が継続していける地域であるかが検討課題になるのではないか。

副町長

御牧地区でもバランスが大事だと思っており、地域合意ができれば集落の周辺で住宅を設けていく地区計画の制度もあるので考えていきたい。

土地利用を見越し整備された第二京阪道路の地下道

Q 今後の運営を真剣に考える時期ではないか

A 民間の活力を将来使えるかの視点を持ちたい

質　問

クロスピアくみやまは、農商工の発信拠点として整備されたが、当初の目的が達成できておらず、今後の事業の必要性や有効性を真剣に考える時期でないのか。

産業課長

運営経費には、２２８０万円かかっている。

年間売り上げは、パン・ジャムが６３４万円、コーヒーが70万円、野菜等が53万円の合計７５７万円になるが、経費が９７１万円かかっており赤字である。

町　長

個別の課題は、まだ工夫や進化する余地が残っているので、当面は直営で行きたいが、民間の活力を将来使えるかの視点を持ちながらやっていきたい。

■一般質問■

巽　悦子 議員

一問一答式

Q バス停のベンチの設置の協議は進んでいるのか

A どこから進めていけば良いか協議している

質問
バス停のベンチ設置については、バス事業者と協議を進めているということだが、どの程度進められているのか。

事業建設部長
バス会社の方も費用負担を含め、当然いろんな情報をもっているので、どこから進めていけばいいのか協議をしている。

質問
「高齢者が安心してこのまちで住み続けられる状況にする」ということは本町の公共交通における大きな課題でもある。もっと積極的な立場で取り組めないのか。

事業建設部長
バス停の環境改善はもう実施している。決して後ろ向きではない。

ベンチの設置を望む声が…

Q 安全衛生委員会が必要では

A 各校医を設け、相談体制もしている

質問
文部科学省の小中学校教員勤務実態調査で、過労死ラインを超えているのは、中学校で6割、小学校で3割である。
労働安全衛生法第18条の「安全衛生委員会は労働者の健康障害を防止するための対策に関する調査・審議、労働者の健康の保持・増進等々を調査・審議をさせ、事業者に意見を述べさせる」ことが大事である。そのことが衛生推進委員でできるのか。

学校教育課長
49人以下の場合は、努力義務であり、学校衛生推進者の設置が求められているので、学校と協議する中で、少しでも環境を向上させていく。

質問
本町の保育所、幼稚園も単体では50人未満だが、委員会はどうか。

総務課長
町立保育所、幼稚園、町立小学校給食調理員含めて1つの安全衛生委員会という体制だ。

質問
現場の先生と教育委員会で調査・意見をいう衛生委員会が必要ではないか。

教育長
推進員を設置し、学校に各校医を設けて相談体制もしている。

Q 「公私連携」にはしないと確約できるのか

A 町が責任をもって保育を今後もしていく

質問
「認定こども園になったとしても、保育の低下をさせない」が、この間の答弁であった。
その決意は今も変わらないか。

子育て支援課長
変わらない。

質問
認定こども園法第34条で、協定によって設備を無償、または、安くて渡すことができる「公私連携」が可能となった。
公私連携幼保連携型認定こども園にはしないと確約できるのか。

民生部長
町は、責任を持って保育を今後もしていくことに変わりはない。

■一般質問■

塚本五三藏 議員

一括質問方式

Q 特養施設は3年間で開設完了か

A 平成31年度の工事着工を目指す

質問 特養施設の設置は、第7次の計画で募集したが、当初の計画通りに進行していない。

懸案事項は、前向きに、良い結果が見つかったのか。

施設整備の期間は、第8次高齢者保健福祉計画の平成30年から平成32年までの3年間で平成32年度内に確実に整備し、開設が完了できるのか。

町長 介護福祉施設用に供する土地は、事業者が取得するか国・地方公共団体から貸与が前提である。

検討している用地は、賃貸借による確保を目指し、用地確保の課題解決に向け、府・国に、この問題を解決できるか具体的に見解を求め、協議を重ねている。

平成32年度の施設整備の完了に向けては、これまでの協議を踏まえ、平成29年8月から事業者と設備・サービス内容を協議し、基本計画をまとめ、府・町・事業者の3者でヒアリングがおこなわれ、京都府事業の「特別養護老人ホーム等施設整備事業」の適用について協議される。

その後、基本設計に基づき、施設整備計画等の承認を受けて、詳細設計に入り、遅くとも平成31年度の工事着工を目指したいと考えている。

町内の老人施設

Q 地域包括ケアシステムの推進構築は

A 地域の自主性や特性に応じて取り組む

質問 地域包括ケアシステムは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的で、住まい、医療、介護、予防、生活支援の一体的なケア体制の構築である。

地域包括ケアシステムの構築と今後のスケジュールと事業に対する展望は。

町長 シニアクラブや自治会、ボランティアなどにマンパワーの一員になっていただきたい。

既存の医療・介護施設の支援と協力は、各施設が本来の業務を確実に遂行し、ケアシステムの一端を担う役割を果たしていただいていると考えている。

地域の自主性や主体性で、地域の特性に応じて、日々取り組む必要があると考えている。

Q 12回の納付の方が滞納解消に寄与するのでは

A 納税しやすい環境づくりを模索したい

質問 国民健康保険税の徴収回数は、10回より12回での納付の方が1回分の納付負担が軽減となり、滞納の解消に寄与するのでは。

町長 メリットとデメリットがある中で、デメリットによる混乱を避けるためにも現段階では試行を含めて12回払いではなく、他の方法で、より納税しやすい環境づくりを模索したい。

国保健康課窓口

公共交通調査特別委員会報告

委員会では、平成27年6月設置後、住民福祉の向上を目指した調査活動をおこない、このほど委員改選に当たり、調査報告書をまとめ信貴町長へ提出した。

【調査報告書】

①現在町内の路線バスは大久保駅と淀駅、中書島駅の2ルートのみであるが、西山天王山駅等からの新路線や、既存ルートの拡充、ダイヤの充実を図るため、バス事業者との協議を進める。

②路線バスの充実に向け、近隣自治体との連携を取って検討を進める。

③路線バス充実に当たっては、街づくりの観点から、「網形成計画」などの策定を検討する。

④国や府の補助金を積極的に活用できるよう調査・検討する。

【議員研修会】

4月19日に全議員対象の「久御山町の公共交通」と題して、大阪大学の土井勉教授を招き、公共交通政策の研修会を実施した。

地域公共交通は、まちづくりの要である。いま久御山では何が問題かを、各地の事例を交えて語られた。

特に限られた財政資源の中で効果を生み出す「クロスセクター効果」を地域公共交通にどうあてはめるか、を説明された。

参加議員からは、地域の問題を含め多くの意見交換があり、有意義な研修会となり、今後の政策検討に生かせるものと感じた。

研修報告 第7回全国コンパクトタウン議会サミット（5月18日～19日）

全国コンパクトタウン議会サミットは、全国64自治体・面積20㎢以下の小さな町を対象に、議員自らの手作りで開催された。

今回は、東日本大震災からの復興をテーマに、被害を受けた宮城県七ヶ浜町での開催となり、全議員で参加した。

内容は、七ヶ浜町長から「七ヶ浜町における津波そして復興」と題した講演や3つの分科会に別れての意見交換、そして七ヶ浜町内の復興状況など現地視察に参加し、災害対応について考える貴重な時間となった。

編集後記

今号から新たな編集委員が担当いたします。

みなさまから親しまれる紙面づくりを心掛け委員一同、努力してまいります。

ご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

（信貴　惠太）

【広報広聴委員会】

委員長　信貴　惠太
副委員長　松本　義裕
委　員　松尾　憲
田口　浩嗣
内田　孝司
岩田　芳一
巽　悦子
オブザーバー
（議　長）　戸川　和子

このまち
このひと
No.16

めざせ全国大会優勝!!

久御山中学校 卓球部

今回は、東京オリンピックでメダルの期待がかかる、卓球競技において、ここ数年輝かしい成績を残している、久御山中学校卓球部に直撃インタビューしました。

久御山中学校卓球部は、現在、城・久大会2連覇中で、8期連続決勝進出という輝かしい成績です。部員は、男子27人、女子3人で活動しています。

工夫した練習

練習は、体育館を他の部活動と共用しているため、自由に使用できません。顧問の先生が、生徒が飽きないように、サーキットトレーニング等を取り入れ、メニューの工夫をしています。

卓球は人生

顧問の河原先生の「卓球は人生」という信念のもと、試合の勝敗にこだわらず、生徒達が歩む人生に有意義なものとなるように、練習する姿勢や生活面での指導をしています。

教え子を信じて

生徒達は、卓球をやりたい気持ちが強く、熱心でマジメ。又、相手チームを研究し、同じチームには負けないけど、初めての相手には、手こずる。しかし、やったらできる、という気持ちを持たせ、うまく環境作りをすれば、夏の大会の初優勝も夢ではないと、河原先生は、力を込めて語りました。

夏期大会に向けて

キャプテンの酒部幸人(こうと)君(3年)と、副キャプテンの山本莉公(りく)君(3年)は、「この大会に卓球人生全てを掛けて、近畿大会出場を目指します！」

2年生代表の芦田陽央(ひいろ)君は、南校長先生の教えでもある「継続は力なり」の言葉を胸に、毎日筋力トレーニングを欠かさずおこない、「全国大会出場を目指します」と力強く抱負を語りました。

「めざせ　全国大会優勝！」

（聞き手・広報広聴委員会）

表紙の「くみやま」を書いたのは赤堀天音(そらね)さんです。

佐山小学校１年生
赤堀天音さん

インタビューに可愛らしい笑顔で答えてくれました。

勉強が大好きで、好きな教科は国語です。休み時間も本読みや復習をしています。

学校から帰ると、夢中になっているバドミントンの練習をしたり、ピアノを弾いたりして過ごしています。

将来の夢は「ママみたいに看護師さんになりたい!!」と元気よく答えてくれました。

発行／京都府久世郡久御山町議会・編集／広報広聴委員会
〒613-8585　京都府久世郡久御山町島田ミスノ 11　TEL 075(631)9996・0774(45)0105　FAX 075(632)3000
E-mail　gikai@town.kumiyama.lg.jp
この広報紙は、環境にやさしい植物性インキを使用しています。